

市議会 報告

3月市議会は、河村ひろ子市議が代表質問(8日)を、土屋ともり市議が一般質問(9日)を行いました。質疑の一部をお知らせします。



河村ひろ子



土屋ともり

学校の「ブラック労働」改善へ

教員の過酷な働き方が社会問題となつていきます。

文部科学省は、「教師が心身の健康を損なうことのないよう、長時間勤務の是正に向けて勤務環境を整備する」ための「総合的な方策(中間まとめ)」を公表しました。

新年度 教職員全員の入校退校記録の集約など 多忙化解消に前進

福山市の学校でも、長時間勤務は深刻です。精神疾患が原因の病気休暇を取得した教員は、小学校で7人・中学校で6人に上ります(今年1月時点)。

土屋ともり市議は、多忙化解消に向け、「中間まとめ」を参考にした新年度の取り組みを求めました。

市教育委員会は、「部活動休養日を土日のいずれか1日を含め週2回にする」「保護者に17時以降の学校への電話を控えるよう依頼する」「教職員全員の『入校退校

正規の勤務時間なら「小学校500人・中学校350人の先生が新たに必要」

「教員勤務実態調査(文科省)」によると、教員の1週間あたりの平均勤務時間は、小学校で57時間25分、中学校で63時間18分です。

正規の勤務時間(週40時間)にした場合、福山市で新たに必要な教員数の試算を求めたところ、「小学校で500人、中学校で350人」に上ることが分かりました。

時刻記録票』を市教委が毎月集約する」と答えました。 ※適正な勤務管理には勤務時間の把握が必須です。しかし、学校現場にタイムカードはなく、教職員が自分で記録する「記録票」についても、市教委はこれまで、全校の状況を把握してきませんでした。

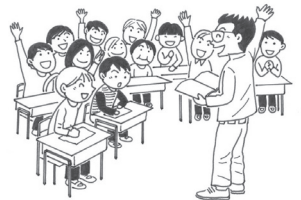
部活動指導員の導入検討

また、部活動指導員の導入を検討するよう求め、「教職員の業務軽減に有効と考える。配置を検討する」と前向きな答弁がありました。

何時間残業しても手当が出ない「給特法」の改善を

教員の労働法制の是正も必要です。「公立教員給与特別措置法」は、教員の基本給を一律

に4%増やす代わりに、時間外や休日勤務の手当を支給しないと定めています。これが、勤務時間が際限なく伸びた原因であると指摘し、同法の改正を国に要望するよう求めました。



議員定数2減の条例案が出される

次の選挙から議員定数を2減の38とする条例案が、各派代表者会議に小川眞和議長から提出されました。22日午後1時からの本会

議で採決されます。日本共産党市議団は、定数削減に反対し審議を行います。ぜひ、傍聴にお越しください。(市役所議会議棟)

願 国保料も介護保険料も高すぎる！ 市民の切実な声を聞け

9日、総務委員会で「国保料の引き下げを求める請願」、民生福祉委員会で「介護保険料の引き下げを求める請願」が採決されました。

22日の本会議で全議員が採決します。それまで署名を提出できるので、引き続きお寄せください。

586筆に上ります。国民健康保険料は、都道府県化にともない、新年度の2060円増(1人平均年額)に続き、段階的な大幅増となる方針です。介護保険料は、新年度の基準額が初めてすえおきとなる方針ですが、制度発足時から約2倍に増高し、滞納件数は1781件(2016年度)に上るなど、高齢者の生活を圧迫しています。しかし両委員会とも、高木たけし市議、河村ひろ子市議以外の他党派の議員は請願に反対し、市民の切実な願いを受け止めようとしませんでした。

日本共産党 議員団 NEWS



村井あけみ



高木たけし



土屋ともり



河村ひろ子

発行 日本共産党福山市議会議員団 広島県福山市露町3-4-25 401 電話 FAX 084-922-2815